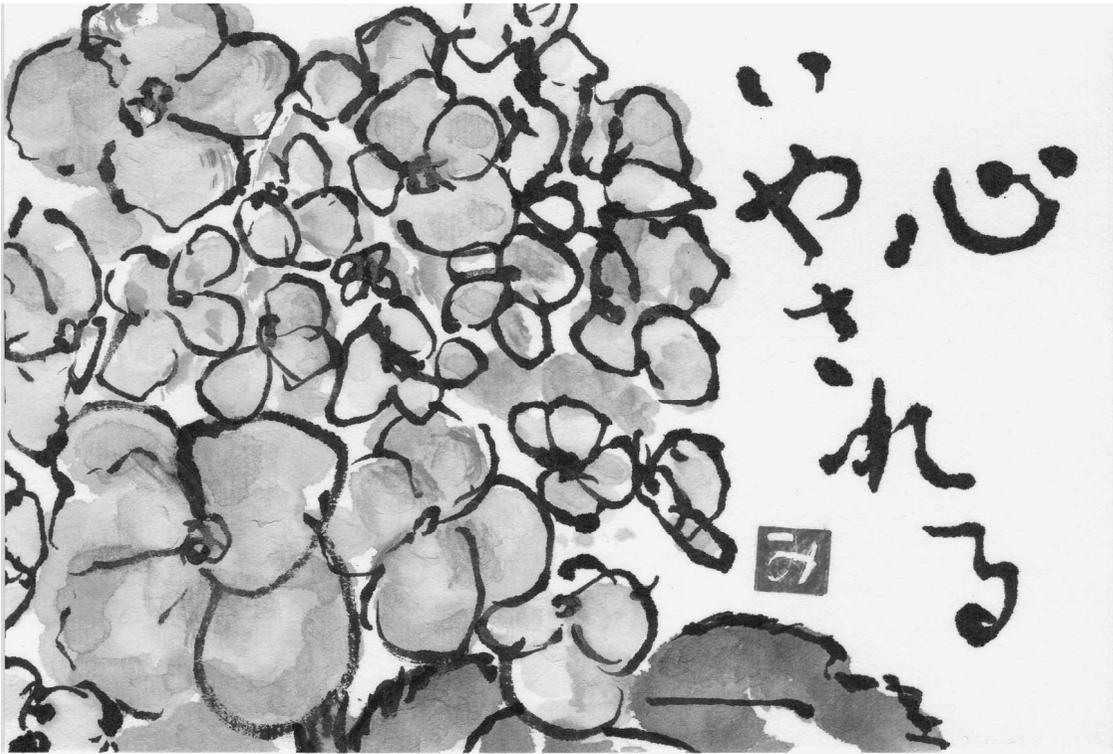


# かさおか

発行所  
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)  
電話 66-1311  
FAX 66-1314



一年間を通しておちばを賑やかにしよう

1. 毎月一千人のおちばがえり
1. 五十万軒にをいがけとおさづけの取次

立教 169年  
6月号

婦人会

笠岡支部総会



去る五月二十三日、婦人会笠岡支部第二十二回総会

が開催されました。三年に一度の総会です。

当日は小雨模様のお天気でしたが、五百五十九名の参加者を頂き、おつとめまなびをさせて頂きました。

この度は全委員長と会員の皆様で十四交代でつとめました。大教会の上段でおつとめをつとめさせて頂ける事に緊張と喜び心を持って真剣につとめさせて頂きました。

式典では会務報告につづいて支部長様よりご挨拶を頂きました。

本部よりの祝詞を拝し、四年後の婦人会創立百周年に向かう成人への心定めと、来年女子青年大会が地方会場でつとめられる事から、委員部長の自覚を促されました。

その後大教会長様より、先ず、全員一手一つに心を合せてみかぐら歌を唱和されていた姿、また初々しくおつとめをつとめられていて大変良かったとねぎらいのおこぼを頂き、台としてのつとめを全うして欲しいと今日からの心の置き所をお

きかせ頂き、会員一同うれしく心新たにさせて頂きました。

昼食後、バザー、ひまわり会・女子青年の模擬店で賑わい、花をそえて頂きました。

午後の記念行事では三人の方の感話がありました。簸ノ川委員長・津森まみえ様、東水島委員長・白井弘枝様、皆部委員長・常井二三代様と、各々の立場で話され、親の思いを心に置いてお通り下さっている真実のお話をお聞かせ頂きました。

教祖百二十年祭、この旬に総会を開催して頂きました事は、この上ない喜びと支部長様にお礼申し上げます。

この喜びと勇み心を委員部に持ち帰り、会員一人ひとりが動かして頂こうと誓い合って閉会いたしました。

(常任委員 中村 満子)



【10】二つ一つで新たな生命が



プラスとプラス、マイナスとマイナスでは反発し合い、プラスとマイナスでもって、一つの生きた流れが生じます。男と女、天と地、月と日、水と火(水気と温み)、これら相対するもの同士が、たすけ合い、補い合いしてこそ、言い換えれば、ハーモニー(調和)が奏でられるところにこそ、はじめて新たないのちが誕生します。発展があります。片方だけでは何も生まれません、ましてや互いに争い、いがみ合っている、何事も成就いたしません。夫婦の理合いも同じこと。これが「天理」というものなのですね。

# 精神の疾患や

## 障害のある人の

### 受け入れとおたすけ



(6月7日のひのきしん  
スクールの特別講座を  
受講して)

大教会 上原 志郎

今の時代では大人から子供まで誰でもがかわる  
とされる精神障害。一番苦しんでいるのは本人で  
あるのは間違いない、いつも近くの者にたすけて  
欲しいとメッセージを送っている。その本人やそ  
の家族に我々おやさまの用木が何ができるでしょ  
うか。町の中で教会が地域と共にどうおたすけを  
していけるか。そう問いかけられた講習会であつ  
たと思います。

精神障害は大きく統合失調症(精神分裂病)とう  
つ病にわけられる。深く知識の無いものにとつて  
は、大変だとか、危険だとか認識しがちだが、そ  
れを生活習慣病と同様で誰もががかりうる病気で  
有り、正しく理解し態度を変えて行動して欲しい、  
又10年後を目途に「入院医療中心から地域生活  
中心」へと押し進め、現在の各道府県における地  
域格差を是正するとともに、「既に治療はある程  
度進んでいるにもかかわらず、地域で暮らしてい

ける受け皿がないために退院出来ない社会的入院  
の精神疾患者」を解消するというのが、国が推  
進する精神保健医療福祉の改革ビジョン(平成16  
年9月発表)である。

平成9年国民の意識調査で「激しく変化する現  
代社会では誰でも精神障害者になる可能性があ  
る」という問に対して、「そう思う」と応えた人  
は51.8%もいた。確かにストレスも多い社会の中で、  
自殺者も増える一方である。

今回のひのきしんスクールでは、これから益々  
増えるであろう精神疾患者の受け入れは我々お道  
の者の急務なおたすけであるとして、憩いの家の  
精神神経科部長、白川分院事務長、実際に長年精  
神障害者を受け入れておられる教会長、詰所教養  
掛などがそれぞれの相違する見解からおたすけす  
るに当り問題となること、自立のための機関、地  
域の行政との連携、経済的支援な  
どこれからのおたすけに欠かせな  
い事項を分かりやすく説明され  
た。

今年4月施行された「障害者自  
立支援法」に伴い、市町村、地域  
の支援を中心に、医療、就労、生  
活、介護などのケアマネジメント  
がチームとなってお手伝いするシ  
ステムになってきています。大変

だと思いがちだが、これからの社会のニーズに  
あった「医者の手余り」のおたすけになるでし  
う。11月にも「精神疾患の障害のある人と共に」  
でひのきしんスクールがおちばで開催予定です。  
詳細は天理時報に掲載されます。



### こころの詩

▼養徳社発行『陽気』誌六月号、「道柳」より転載

▽今回の課題は「次」、選六十二句中、一名、一句が、  
見事選ばれ掲載されましたので転載させて頂き  
ます。おめでとうございます。

準秀詠 東悠分教会長夫人 田林 美智子

月次祭新顔ありて笑みゆたか

## 「こどもおちばがえり」について

### \* 詰所へ到着されたら

宿泊者と食事の数を必ず事務所に報告ください(変更の有無に関わらず)。  
大教会長さまより帰参の感謝状と記念品をお渡し頂きます(帰参した日の午後5時より、教会の責任者と少年会員の代表者は事務所前の応接室にお越しください)。

### \* おやさとパレード見学について

交通安全、周辺道路の交通事情、騒音迷惑などにより、大型バスは運行禁止とします。ご理解ください(中型バス、マイクロバスについては運行して頂いて結構ですが、なるべく歩いて参加して下さい)。

### \* 食事について

- ・ 時 間 夕食の時間は午後5時から7時までをお願いします。午後7時以降の食事はご遠慮ください(保健所からの指導がありました)。
- ・ 申し込み 食事をされる2日前の夕方までに詰所へご連絡ください。なお、食数の変更は、減らすよりも増やす方が簡単ですので、人数がはっきりしないときは、少なめに申し込み、出発当日に正確な数を連絡してください。
- ・ 弁当(業者) 食事をされる2日前の午前8時までに、詰所へご連絡ください。なお、変更はできません(業者のチラシは希望者にお渡しします)。

### \* 水について

詰所では絶対に生水は飲まないようにしてください。お茶を用意しております。  
水は親神様からのお与えです。粗末にしないように指導して下さい。

### \* 入浴について

風呂場では、暴れたり、騒いだり、湯に潜ったりしないよう引率者は子供達といっしょに入って、入浴のマナーの手本を示してください(水不足のうえから特に水を大切に使うよう指導して下さい)。

### \* おつとめについて

詰所では毎朝6時からおつとめの放送をします。各部屋でそれに合わせておつとめをしてください。

### \* ラジオ体操について

毎朝、おつとめにつづいて、ラジオ体操の放送をします。廊下、玄関前などで体操をしてください(カードには引率者の印鑑を押してください)。

### \* 目標(めどう)について

期間中、詰所内に目標を掲示します。実行するよう子供達に手本を示してください。

---

## 「こどもおちばがえり」期間中の詰所行事

### ◎わかぎひのきしん

\* 期間中、帰参した中学生に食堂ひのきしんをしていただきます(毎朝6時からの育成放送をお聞きください)。

### ◎模擬店

- \* 開 催 日 7月28日(金)・30日(日)・8月1日(火)・3日(木)  
(いずれも午後6時から7時まで)
- \* 内 容 たこ焼き、フライドポテト、かき氷、スーパーボールすくい、輪投げ  
(いずれもチケット一枚・50円)
- \* チケット 4枚綴り(200円)を開催日の午後5時半から1階渡り廊下で頒布。

### ◎パターゴルフ

\* 模擬店開催日の午後6時から7時まで2階渡り廊下にて実施(無料)。

### ◎ビデオ上映

\* 7月26日から8月4日までの間、毎晩午後7時半から9時まで修練室(北棟2階西)にて上映(無料)。

### ◎クイズ

\* 7月26日から8月4日までの間、詰所内各処(廊下、階段、おどり場など)に展示。小学生低学年、高学年・中学生コース。解答者の中から抽選で景品をプレゼント。

---

# 五月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に会長上原理一慎んで申し上げます

親神様には「月日にハとのよな事も一れつにみなにをしへてよふきづくめに」と日々は旬々の天然自然の御守護を下されると共に身上事情の上にも救済の御守護を下さるばかりでなく一列子供に守護の理合いをお教え下さり陽気ぐらしへとお導き下さいます事は誠に有難く勿体ない極みでございます しかるに世の人々の多くはその理がわからず目先の欲にとられて喜びの理さえ不足と感じ苦しみに喘いでいます事は誠に残念でなりません 親神様のお導き教祖のお引き寄せに浴した私共は日々喜びと感謝の気持ちに心を湛えつつ朝夕に御礼申し上げますと共に一人でも多くの人に喜びの理を伝えるべくにいがけおたすけにとたすけ一条の御用の上に勤め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日はこれの笠岡にお許し下さいました五月の月次祭を執り行う日柄でございますので只今からおつとめ奉仕者一同喜び心も一入に御教え通り明るく陽気に勇んで座りづとめてをどりをつとめさせて頂きます 御前には目に鮮やかな青葉若葉に一層感謝の心を強めて今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達が相共にお歌を唱和し夫々の真実を披瀝する状を御覧下さいまいして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて先月二十九日に行われました全教一斉ひのきしんデーには国内はもとより世界各地でも大勢の人々が参加し共に喜び一杯の汗を流させて頂きました 日々の寄進だからひのきしんデーであるところをあえて日を定めて全教一斉として下さったおぢばの思い一つに心を結び合つとめさせて頂く事が出来ましたことを御礼申し上げます ひのきしんデーを節目に益々日々の喜びと感謝の心を味わい御恩報じの思いを深めて次の塚に向かつて成人の歩みを進めさせて頂く覚悟でございます 又教祖百二十年祭子供おぢば帰りを二ヶ月後に控えた今日おぢばが一人でも多くの子供で賑わうよう本日は縦の伝道講習会を開催させて頂きよぶく信者一人一人が育成会員である事の自覚を高め子供達への声掛けの一助とさせて頂く所存でございます 更には又明後日二十三日には婦人会支部総会を開催させて頂きみちの自覚を高めたいとの自覚を高めたんのうの心で「生み育て」の徳分を生かして道の後継者の育成を推し進めて行く事を誓い合いたいと存じます

何卒親神様には旬の理を生かし自らの成人の歩みを後に続く者の育てに邁進する皆の真実の心をお受け取り下さいまして思召に叶う心の成人の者が弥増しお望み下さる陽気づくめの世の状に一日も早くお導き下さいますようお願い申し上げます

## 大教会だより

### ◎第七七九期修養料

自 立教168年3月1日  
至 立教168年5月27日

#### \*教 養 掛

三ヶ月間 中村義太郎 (大教会役員)

一ヶ月目 猪原啓介 (門司港分教会長)

二ヶ月目 仙田 勉 (出雲川津分教会長)

三ヶ月目 北川 治史 (稲倉分教会長)

#### \*修 了 者

福 山 岡崎豊彦

高 屋 谷本里喜男

福 廣 榎田昌志

福 勇 川島正

芦 品 藤井潔

甲 井 為平寛

福 山 安達直子

高 屋 谷本道子

◎教会長資格検定講習会修了者

前期 立教168年6月14日終講  
 笠岡 内海 史郎  
 高屋 谷本 倫子  
 福芦 佐藤 昌子

弓ヶ濱 森川 望  
 葦沼 井上 典子

う一同と共に慎んでお願い申し上げます

計報

田中昭夫氏

鴨方分教会長  
 六月八日出直されました。  
 享年 七十八才



去る四月二十六日、全教一斉ひのきしんデー。

我が教会もすぐ近くの、中国縦貫道高速バス停上下線をいつも掃除しているが、今年は一才様子が違っていた。下り線バス停には約10mの長さで植込みがあり、これが曲者だった。この植込みの中へ、下車した時のゴミを全て捨てていくのである。弁当、ペットボトル、菓子袋、赤ん坊のオシメ、買物袋に入れたその他

のゴミの数々。中には首をひねるゴミもある。どう考えても家庭ゴミだから。

道路管理会社もホトホト困ったのだろう。この春三月、植込みをきれいさっぱり切ってしまった。するとどうだ。ゴミがピタッとなくなった。人間の心のあさはかさをみる。大袈裟ない方だが闇に蠢く人の心がゴミにある。

さて、上り線のバス停、以前からゴミは少ない。しかしいくらかは有る。待合室の後に幅1m長さ15m程の側溝があり、その中にも小さなゴミがあるので、拾いながら先端まで行くと新聞紙が落ちていた。風に飛ばされたのだろうとヒョイと拾いあげると、何とそこには見事な大量の税金が納めてあった。

世ノ中平和デアリマス。  
 (か)

・原・稿・募・集・

内 容

①小随筆、②教会・布教所の独自の活動の紹介、  
 ③俳句・和歌・川柳、④教会行事開催後の報告記事 等々

字 数

1000字前後(800字~1200字)  
 題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。  
 俳句等は1句からでも結構です。

寄稿先

下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。



郵便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377  
 FAX：0865-66-1314  
 メール：tenkasa@kcv.ne.jp